

授業科目名	クリティカルケア特論		単位数	1	時間数	
Course Title	Advanced Critical Care		必修・選択	必修 (NP)	受講対象年	1年次
科目コード	95625801	授業の形式	講義、演習、実習	講義室等	藤田医科大学病院、第6講義室&リモート授業	
開設学期等	後期 火曜日 11・12時限					
【担当教員名】	【職名 / 所属】	【研究室番号】	【電話番号】	【担当教員名】	【職名 / 所属】	【研究室番号】
安藤秀明	教授 / 看護学講座	WebClass	WebClass mail	利録	講師 / 看護学講座	WebClass
吉岡政人	教授 / 看護学講座	WebClass	WebClass mail	酒井博崇	講師 / 藤田医科大学 保健衛生部	WebClass
谷田真一	FNP室 藤田医科大学病院	WebClass	WebClass mail	稲田周平	FNP室 藤田医科大学病院	WebClass
廣末美幸	FNP室 藤田医科大学病院	WebClass	WebClass mail	永谷ますみ	FNP室 藤田医科大学病院	WebClass
小林洋平	FNP室 藤田医科大学病院	WebClass	WebClass mail	塩沢亜依美	FNP室 藤田医科大学病院	WebClass
授業の目的・到達目標						
【目的】先進的なクリティカルケア現場で、NPの役割実践・チーム医療を学び、診療体制により求められるNP役割を探索する。						
【到達目標】						
(1) 診療体制によって求められるアセスメントの違いを理解できる。						
(2) クリティカルケア分野における治療方針決定現場で、データ・医学的根拠から論理的な臨床推論を行う過程を理解できる。						
(3) 処置のリスクを理解し、問題解決に向けて、医師等の多職種との連携のありかたを理解する。						
(4) 自らの看護実践を振り返り、課題を考察し、NPとしての役割を理解する事が出来る。						
本授業科目は「実務経験のある教員による授業科目である」 医療・保健活動に実務経験を有した教員（医師・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士）が、その実践経験を生かして実践的な教育を行う。						
授業の概要と進行予定及び進め方						
NPクリティカルケア領域において、先駆的实践を行っている藤田医科大学病院において、診療現場で活躍するNPとともに、その実践を通して学習する。【事前学習】高度実践看護師およびNurse Practitionerの活動について学習しておく。						
成績評価の方法		教科書・参考書・参考文献等				
藤田医科大学病院NP指導担当者から客観的評価および演習終了後、学習内容プレゼンテーションを行い、これらを総合的に評価する。		教科書等	書籍名	著者	出版社	
		参考書	『高度実践看護 統合的アプローチ』	Ann B. Hamric	へるす出版	
		参考書	『麻酔科研修チェックノート』	巖波 美智義	羊土社	
		参考書	『UCSFに学ぶできる内科医への近道 改訂4版』	山中克郎、他	南山堂	
コメント		各診療科に1名ずつ配属してローテーションするため、配属部署の順番は個別となる(2-5日目)。実習期間：9月5日-9日、または9月12-16日。実習終了後の報告会は9月20日に実施する。				
授業展開		Web受講	授業内容			
第1回 1日目	1-2時限	○	研修施設案内・見学。各担当者との面談と各部門の特色を学習。 自らの看護実践をプレゼンテーション/グループワーク。 【事前学習】前期に履修した、病態生理学、臨床推論、疾病・臨床病態概論、フィジカルアセスメント、臨床薬理の内容を復習しておく。			
【担当】	酒井博崇、利録、安藤秀明					
第2回 1日目	3-4時限	○	研修施設案内・見学。各担当者との面談と各部門の特色を学習。 自らの看護実践をプレゼンテーション/グループワーク。 【事前学習】前期に履修した、病態生理学、臨床推論、疾病・臨床病態概論、フィジカルアセスメント、臨床薬理の内容を復習しておく。			
【担当】	酒井博崇、利録、安藤秀明					
第3回 1日目	5-6時限	○	研修施設案内・見学。各担当者との面談と各部門の特色を学習。 自らの看護実践をプレゼンテーション/グループワーク。 【事前学習】前期に履修した、病態生理学、臨床推論、疾病・臨床病態概論、フィジカルアセスメント、臨床薬理の内容を復習しておく。			
【担当】	酒井博崇、利録、安藤秀明					
第4回 2日目	1-2時限	○	救命救急センターにおける、NPクリティカル領域における実践および医師等の多職種との連携を学ぶ。 【事前学習】前期に履修した、病態生理学、臨床推論、疾病・臨床病態概論、フィジカルアセスメント、臨床薬理の内容を復習しておく。			
【担当】	廣末美幸、酒井博崇					
第5回 2日目	3-4時限	○	救命救急センターにおける、NPクリティカル領域における実践および医師等の多職種との連携を学ぶ。 【事前学習】前期に履修した、病態生理学、臨床推論、疾病・臨床病態概論、フィジカルアセスメント、臨床薬理の内容を復習しておく。			
【担当】	廣末美幸、酒井博崇					
第6回 3日目	1-2時限	○	循環器病棟・外来や心臓血管外科手術における、NPクリティカル領域における実践および医師等の多職種との連携を学ぶ。 【事前学習】前期に履修した、病態生理学、臨床推論、疾病・臨床病態概論、フィジカルアセスメント、臨床薬理の内容を復習しておく。			
【担当】	永谷ますみ、谷田真一、小林洋平、酒井博崇					
第7回 3日目	3-4時限	○	循環器病棟・外来や心臓血管外科手術における、NPクリティカル領域における実践および医師等の多職種との連携を学ぶ。 【事前学習】前期に履修した、病態生理学、臨床推論、疾病・臨床病態概論、フィジカルアセスメント、臨床薬理の内容を復習しておく。			
【担当】	永谷ますみ、谷田真一、小林洋平、酒井博崇					
第8回 4日目	1-2時限	○	周麻酔管理における、NPクリティカル領域における実践および医師等の多職種との連携を学ぶ。 【事前学習】前期に履修した、病態生理学、臨床推論、疾病・臨床病態概論、フィジカルアセスメント、臨床薬理の内容を復習しておく。			
【担当】	塩沢亜依美、酒井博崇					
第9回 4日目	3-4時限	○	周麻酔管理における、NPクリティカル領域における実践および医師等の多職種との連携を学ぶ。 【事前学習】前期に履修した、病態生理学、臨床推論、疾病・臨床病態概論、フィジカルアセスメント、臨床薬理の内容を復習しておく。			
【担当】	塩沢亜依美、酒井博崇					
第10回 5日目	1-2時限	○	外科診療において、診療科としてのNPクリティカル領域における実践および医師等の多職種との連携を学ぶ。 【事前学習】前期に履修した、病態生理学、臨床推論、疾病・臨床病態概論、フィジカルアセスメント、臨床薬理の内容を復習しておく。			
【担当】	稲田周平、酒井博崇					
第11回 5日目	3-4時限	○	外科診療において、診療科としてのNPクリティカル領域における実践および医師等の多職種との連携を学ぶ。 【事前学習】前期に履修した、病態生理学、臨床推論、疾病・臨床病態概論、フィジカルアセスメント、臨床薬理の内容を復習しておく。			
【担当】	稲田周平、酒井博崇					
第12回 WebClass参照	11-14時限	○	クリティカルケア実践施設見学会発表会。 これまでの自らの看護実践を振り返り、NPの役割を探索する。 【事前学習】藤田医科大学病院で学んだ内容をまとめて、全体共有のためのプレゼンテーション資料を作成する。			
【担当】	安藤秀明・吉岡政人・利録・酒井博崇					